

夏のお手入れ

夏のお手入れで大切なのは、何といても湿気対策。カビが生えやすい水まわりや自然素材を多く使っている和室などは、入念に対処が必要です。また、本格的に暑くなる前に網戸の点検や掃除をしておくこともポイント。風通しのよい網戸で夏を快適に過ごしましょう。

- お使いになる洗剤等の裏面の注意事項は必ずお読みください。
- 各メーカーの取扱説明書や使用上の注意書きを必ずお読みください。



畳の湿気取り

畳の下は、和室の中でも特に湿気がたまりやすい場所。畳の縁を浮かせた状態にして湿気を抑えましょう。

押入の湿気対策

押入も畳と同じく、湿気がたまりやすい場所です。ふすまを開け放って空気を送り、湿気を逃しましょう。

浴室の換気

浴室にカビが発生するのを防ぐためには、湿度は常に65%以下に。効果的な換気方法を実践しましょう。

浴室のカビ掃除

いったん発生してしまったカビは、なかなか落としにくいもの。「湿布法」で念入りにお掃除を。

キッチン排水口のお掃除

夏場はキッチンの排水口に雑菌が発生しやすいので要注意。重曹を使って排水口の奥までお掃除しましょう。

網戸のお掃除

網戸のお掃除は、本格的な夏の前に行いたいもの。破れた部分があれば、はり替えも行いましょう。

「浴室のふだんのお掃除」

使い終わったらサッと洗い流す習慣を

石けんカスや湯あかはカビの栄養になるので、床の溝にとどくお風呂専用のブラシで湯あかをおとし、最後に使った人が洗い流しましょう。お湯で流した後でシャワーの水をかけ、壁や床の温度を下げます。最後にスクイジーを使って浴室内の水気を取り除けば完了。毎日これだけのことを行うだけで、浴室全体が汚れにくくなります。

- 作業時間／約5分 ■作業の頻度／浴室を使うたびに
- 用意する物／スクイジー、お風呂専用のブラシ



皮脂汚れや石けんカスは「お酢ティンクル」などの弱酸性洗剤でキレイに落とす

皮脂汚れや石けんカスは、時間の経過とともに固まった状態で残りやすくなります。これらの汚れには、界面活性剤が入った「お酢ティンクル」などの弱酸性洗剤を使いましょう。3日に1度くらいの頻度でお掃除すれば、皮脂を分解して汚れをキレイに落とすことができます。

- 作業時間／約15分
- 作業の頻度／3日ごとに
- 用意する物／キレイな雑巾またはやわらかいスポンジ、お酢ティンクルなどの弱酸性洗剤



白く残ってしまう水あかにもご注意ください

浴室の壁や床などに残る水あかにも、「お酢ティンクル」などの弱酸性洗剤が効果的。スポンジなどで拭くようにしてお手入れしましょう。ゴシゴシこすると表面にキズがつき、カビや汚れが付着しやすくなるのでご注意ください。

- 作業時間／約10分 ■作業の頻度／3日ごとに
- 用意する物／やわらかいスポンジ、お酢ティンクルなどの弱酸性洗剤

